

中田かわら版 12月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

区役所・中田連合自治会懇談会を傍聴して

10月26日、区役所と中田連合自治会の役員及び自治会長による今年度懇談会が中田町会館で行われた。区役所から区長以下17人、中田連合側から41人が出席。なお会の冒頭で、中田連合自治会（望月榮会長）が泉区防災連絡協議会（会長・下村 直区長）から半年間連続無火災達成で感謝状が贈られた。代表して望月会長に手渡された。＝写真上。

平成26年度懇談会は、区に事前に提案された15項目に対して所管の担当者が回答を説明する形で進められた。今回提案されたものは下記の通り（タイトルは原文のまま）。

- 1、中田中学校交差点の歩道設置について（所管、和泉土木事務所）
- 2、信号設置要望（泉土木事務所、和泉警察署）
- 3、Y字路の信号設置の検討について（同上）
- 4、信号設置要望（同上）
- 5、横断禁止の看板の設置（地域振興課、泉警察署）
- 6、地域防災拠点防災備蓄庫の移設（総務課）
- 7、カーブミラーの設置（泉土木事務所）
- 8、水路の看板の補修（同上）



下村区長から感謝状を受ける望月会長



会場風景（左右が中田連合席）

- 9、道路の拡幅（和泉土木事務所、和泉消防署）
- 10、住民の安否確認のための、住民基本台帳の情報提供（総務課、戸籍課、地域振興課）
- 11、地域防災拠点の整備（総務課）
- 12、深谷通信施設の跡地利用（区政推進課、政策局基地対策課）
- 13、道路の舗装改修（和泉土木事務所）
- 14、中田中央公園への避雷針の設置について（地域力推進担当、環境創造局南部公園緑事務所）

- 15、自治会・町内会館へAEDを設置してほしい（総務課）。

午後3時、望月会長、下村区長のあいさつの後、1項目から区の担当者が回答要旨を説明。タイトルだけでは、そこがどこで、なぜ必要なのかよく分からないが、資料には提案理由が細かく具体的に書かれている。回答説明が終わり、3時40分から当該自治会の会長から提案理由の発言があった。最初は広町の猪俣氏が1から6番まで。2番目に富士見の内堀氏が13～15番、3人目に中下の高橋氏が通信隊跡地の市の管理態勢、防災拠点での民生委員の重要性など訴えた。

7番のカーブミラーの設置を訴えた山神前の北野氏のように、各自治会が抱えている身近な問題が提案された。項目で多かったのは土木関係の8、総務課5、警察4、その他1で、土木関係が53.3%を占めた。回答欄の中で目に付いたのが話を進めている、困難との見解を頂いた（3か所）。私道だから設置に対応できないなど。現実には毎年数件の事故が発生しているという。最後に望月会長の言葉を紹介したい。「各自治会会長の言葉は地域住民の安全を思っている真剣な発言。行政は死者が出るまでは動かない。事故が起きてからでは遅いのです。それと中田交番前の分離帯、無用の長物の何物でもない。何年前から撤去を要望しているが依然そのまま。よく考えてほしい。」

（編集委員・宮田貞夫）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

1月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

平成26年度 中田新春健康マラソン大会

日時：平成27年1月18日（日）雨天中止

開会式 9:30 スタート 2.5 km 10:00 5 km 10:20

場所：中田小学校校庭（スタート及びゴール）

申し込み方法：往復はがき（本人負担）による事前申込制（当日の申し込みはできません）※12月20日必着

申し込み多数の場合は中田連合在住者を優先し、残りは抽選で決定します。要綱は、立場地区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスにおいてあります。

表彰：各種目とも1～3位まで表彰します。また参加者全員に参加賞、その他特別賞・飛び賞など多数有ります。

参加費：中田連合地区在住者以外は1,000円（但し中学生以下は無料）

※安全を考慮し参加者を2.5 km、5 km合わせて600名とします。

お問い合わせは、各自治会・町内会の体育部長まで。

申し込み方法及びコース図等の資料「中田新春健康マラソン大会 開催要項と申込方法」については、立場地区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスに12月1日から置いてあります。



■ 第41回 中田「文化祭」

第41回文化祭（中田連合自治会主催・望月榮会長）が9日、中田小学校の体育館と校庭の2会場で行われた。体育館では各自治会、活動団体、地域作業所、小・中学校の美術クラブなどから写真、絵画、ポスター、刺繍など1470点の力作が展示され来場者を魅了した。舞台では葛野小学校3年生のコーラスが熱演。中田小のマーチングバンドが大会出場で抜けた分、素晴らしい歌声で拍手を浴びていた。グラウンドでは宮城県から今年も特産物のリンゴ、マメ餅、漬物、野菜などの販売に長い列ができほぼ完売。バザー、健康測定、模擬店も賑ぎ合っていた。

恒例の民生児童委員の指導でクリスマスや、お正月の飾り物作り体験コーナーも人気があり、出来上がった作品を嬉しそうに眺める大人や子どもたち。今年も年末の足音が近づく気配が感じた楽しい1日だった。午後2時45分閉幕。主催者の発表では、およそ2500人の来場者があった。



国分満義・青少年指導員会長談「きょうは大雨という予報だったが、皆さんの熱いパワーで悪天候を吹き飛ばし、素晴らしい文化祭になった。皆さん1人ひとりの協力のおかげで無事終了できたこと感謝いたします。展示された素晴らしい作品の数々、この成果を来年もまたつなげていってほしい」。

（宮田）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！